

平成14～16年度 教育研究業績書

奈良大学在職期間	1999年	～	現在	氏名	吉田光次
最終学歴	平成9年3月 京都大学大学院理学研究科物理学第二専攻博士課程修了				
取得学位	博士（理学）				
所属学会	日本物理学会				
専門分野	理論原子核物理				
研究課題	有限温度・有限密度物質の相転移現象				
【研究上の特記事項】					
【教育上の特記事項】					
<p>【社会的活動】（主要なもの）</p> <p>パソコン入門講座（本学主催）、Excel入門講座（本学主催）</p>					
<p>【学内活動】（学内職歴を含む・主要なもの）</p> <p>情報処理センター運営委員</p>					

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
N-Point Vertex Functions, Ward-Takahashi Identities and Dyson-Schwinger Equations in Thermal QCD/QED in the Real Time Hard-Thermal-Loop Approximation	共著	平成14年4月	Progress of Theoretical Physics誌, 107巻	実時間形式における有限温度DS方程式を書き下すために必要なN点頂点関数とWT方程式を書き下した。
Chiral Phase Transition in QED at Finite Temperature: Dyson-Schwinger Equation Analysis in the Real Time Hard Thermal Loop Approximation	共著	平成15年10月	Progress of Theoretical Physics誌, 110巻	実時間形式での有限温度DS方程式を数値的に解析し、有限温度でのカイラル相転移について分析を行った。
Chiral phase transitions in quantum chromodynamics at finite temperature: Hard-thermal-loop resummed Dyson-Schwinger equation in the real time formalism	共著	平成15年5月	Pramana誌, 60巻	有限温度DS方程式の解析結果について、インド・ジャイプールでの国際会議で発表したものを報告したもの。
(その他)				
教養科目「情報基礎」における成績の傾向について	単著	平成15年11月	奈良大学情報処理センター年報No.14	必修科目として導入された教養科目「情報基礎」の成績に関する分析。